

キリストの聖体

2015.6.7 9:30 ミサ

マルコ 14・12-16,22-26

今日はついに初聖体の日です。4月からリーダーと一緒に準備してきたご聖体のイエス様を初めて今日頂くことになりました。早くいただきたいでしょう？なので、今日の神父様のお話は短くしますね。

イエス様のご聖体をいただくとどんな味がするのかな、そんなふうに前からずっと楽しみにしてきたでしょう。ご聖体のパンは、イエス様のお体としてわたしたちいただきますが、そのパンの中にはお砂糖もお塩も何も入っていません。だけれども、不思議なことに、ご聖体をいただくと、口のなかがすごく甘く感じると思いますよ。そして、ご聖体をいただいてお席にもどってくると、イエス様のご聖体をいただいた味がお口の中に残っています。そして、胸のところがじわーっと暖かくなる感じがします。イエス様のご聖体をいただく時にはすごくドキドキするけれど、ご聖体をいただくと、すっかり安心出来て「イエス様が来てくださった、とてもうれしいな」というお心だけが残ります。本当かどうか、あとでご聖体をいただいたときに、そんなふうに感じられるといいですね。

ご聖体のイエス様を最初にいただいたのは誰でしょうか。あの「最後の晩餐」のときのお話を知っていますか。「最後の晩餐」のときにイエス様はどうなさったんでしょう。弟子たちと一緒に「最後の晩餐」のテーブルでイエス様はパンを取って、そして、それは、大きなパンだったので、そこにいる弟子たち一人ひとりが食べられるようにそのパンを裂いてくださって、そして、「これがあなたがたのために渡されるわたしの体だよ」とおっしゃって弟子たちに与えてくださいました。お食事がすんだ頃に、イエス様はぶどう酒が入った大きな杯を皆に回して、「これを受けて飲みなさい。これはあなたがたと多くの人のために流されるわたしの血だよ。受けて飲みなさい」、そのようにおっしゃってくださいました。ごミサはそのイエス様の「最後の晩餐」を思い起こして、イエス様があのときおっしゃったように、ご聖体のパンのイエス様をみんなでいただきます。

「最後の晩餐」でイエス様と一緒にテーブルを囲んで、イエス様からご聖体のパンをいただいたときに、どうしてイエス様が「これはあなたがたのために渡されるわたしの体だよ」、「これはあなたがたと多くの人のために流されるわたしの血だよ」っておっしゃったのか、その意味が弟子たちにはよくわからな

かったと思います。「最後の晩餐」のあと、イエスさまはどうなってしまったのでしょうか。イエスさまは十字架に架けられて死んでしまわれたのです。けれども十字架の上に死んでしまわれたイエスさまは、約束しておられたとおりに復活されて、弟子たちに現れてくださったのです。復活されたイエスさまとお会いして、復活されたイエスさまが、神さまの聖霊を与えてくださった時、弟子たちには分かったのです。「ああ、イエスさまがあ最後の晩餐のときにしてくださったことは、このことを言っていたんだ」ということが弟子たちには分かったのです。十字架の上に死んだイエスさまは、あの「最後の晩餐」のときにおっしゃったように、十字架の上で死ぬことによって、そのお体とおん血をわたしたちみんなのために与えてくださったのだということが分かったのです。

あの「最後の晩餐」のときのイエスさまのおことばがなかったら、イエスさまの十字架の死は、「どうしてイエスさまは十字架に架けられて死んでしまわれたのだろう？」って、その十字架の意味がわからなかったと思います。復活されたイエスさまが来てくださったとき、弟子たちはあの最後の晩餐のときのイエスさまのおことばを思い出すことが出来たのです。「ああ、そうなのだ。あの最後の晩餐のときのおことばの通りに、わたしたちに神様のいのちを、十字架に架けられて死んだイエスさまを復活させてくださった神様のいのちをわたしたちに、みんなの人に与えるために、イエス様は十字架の上に死なれたのだ」ということが、弟子たちは分かったのです。

教会のごミサの中でわたしたちはみんなイエスさまの十字架の前のこの祭壇のテーブルで、イエス様が最後の晩餐のときにしてくださったように、「取って食べなさい。これはあなた方のために渡されるわたしのからだである」というイエスさまのおことばを思い出してご聖体のパンをいただきます。イエス様が十字架の上に死んでわたしたちに与えてくださった神様のいのちを、イエスさまのお体、ご聖体としていただくのです。

今日は初聖体の日です。イエスさまのご聖体をいただくとき、イエス様が最後の晩餐のときにそうおっしゃってくださったように、わたしたちがいただくご聖体のパンの中に、ご聖体をとおしてイエスさまの神様のいのちをいただくんだ、そんな思いで、そんな感謝の中で、ご聖体をいただくさせていただきます。

これからずうっとごミサに来て、ご聖体をいただいて、ごミサのあと教会学校でお勉強して、イエスさまのことがもっともつと分かるようになりますよう。そして、みんな、イエス様のお体をいただいて、イエス様が与えてくださる神様のいのちをいただいて、みんな、神様に感謝しながらこれから生きてゆくことができますように。どんな苦しいことがあっても、どんないやのことがあっても、イエスさまがご聖体としてわたしたちのところに来てくださっているの

で、イエスさまがいつも一緒にいてくださるということを忘れることがありますように。

ご聖体のイエスさまをお迎えして、みんなで、心を合わせて祈りましょう。

カトリック高円寺教会
主任司祭 吉池好高